

当 所 の 活 動

(1984年8月～1985年8月)

講 演

日本植物学会第29回大会

(昭和59年8月22日～24日, 札幌)

伊東隆夫・R.M. Brown, Jr.: マガタマモのプロト
プラストの細胞壁再生におけるタンパク合成の
役割

京都大学公開講座“木材の科学” (第3回)

(昭和59年8月23日～25日, 宇治, 京都)

農学部林産工学教室と共催(中学・高校教員を
対象)

I 「木材の科学」概論

林 昭三: 肉眼による樹種の識別

則元 京: 木材の物理的性質——材料としての機能
他に林産工学教室2名

II 分属セミナー

木材生物部門: 顕微鏡下の木材組織

リグニン化学部門: リグニンによる木材の化学的
識別

木材物理部門: 木材の物理的性質と加工

木質材料部門: 木材の工学的再生——木質材料
(軽量パーティクルボードの製造と2次加工)

他に林産工学4講座

国際応用木材化学シンポジウム

(昭和59年8月26, 27日, クレムソン)

M. NORIMOTO: Viscoelastic Properties of Cel-
lulose Derivatives

N. SHIRAIISHI and M. NORIMOTO: Forest Products
Research in Japan

第7回糖質シンポジウム

(昭和59年8月27, 28日, 大阪)

東 順一・越島哲夫: 被子, 裸子及び禾本科植物細
胞壁中のリグニン・多糖結合体の構造の比較研
究

第6回 文化財虫菌害保存対策研修会

(昭和59年8月29, 30日, 京都)

高橋旨象: 文化財建造物木材の腐朽について

兵庫県木材工業技術研究会講習会

(昭和59年9月30日, 神戸)

則元 京: マイクロ波加熱による木材, 竹, 籐の曲
げ加工

Pacific Regional Wood Anatomy Conferen- ce

(昭和59年10月1日～7日, 筑波)

N. YOSHIZAWA, T. ITOH and K. SHIMAJI: Helical
thickenings in normal and compression
wood of some softwoods.

H. KURODA and K. SHIMAJI: Analysis of fiber
length by a microcomputer.

H. KURODA and K. SHIMAJI: Fiber length me-
asurement system (FILMS) by a micro-
computer.

T. ITOH and K. SHIMAJI: Wood species of ex-
cavated pillars for ancient buildings.

K. KURODA and K. SHIMAJI: Computerization
of hardwood identification.

T. ITOH and R.M. BROWN, Jr.: The effect of
protein synthesis inhibitor on the assem-
bly of cellulose microfibril in Boergesenia
protoplasts.

Y. IMAMURA and K. NISHIMOTO: Fractography
of Particleboards under Fungal Attack.

K. YAMANAKA and Y. IMAMURA: Observation
of Fossil Woods by SEM/EDXA.

針葉樹 LVL および合板の技術開発研究会

(昭和59年10月3日, 筑波)

佐々木 光: 針葉樹 LVL の製造技術開発の展望

昭和59年度触媒研究会

(昭和59年10月4日, 5日, 静岡)

岡本 忠・佐々木 健・岡 信三郎・島田幹夫: 遷
移金属ポルフィリン錯体触媒によるグリコール
結合の開裂, チトクロム P-450 scc のモデル
反応

衛生技術会: 『未利用・低利用植物資源の利用開発
技術』講習会

(昭和59年10月8日, 9日, 東京)

棚橋光彦：木材残渣の化学。生化学的転換による有効利用

日本木材加工技術協会第2回年次大会

(昭和59年10月12日, 13日, 東京)

川井秀一・佐々木 光・中路 誠・横山信助・森田清司：軽量ボードの基礎的な材質

吉田弥寿郎・川井秀一・佐々木 光：スリット型配向装置におけるパーティクルの配向度の予測

石原茂久・川井秀一・佐々木 光・中路 誠：軽量ボードの燃焼挙動と塗装法による耐火性能の向上

西本孝一, 今村祐嗣：アセチル化処理による材質改良

日本木材保存協会：第3回木材保存講座

(昭和59年10月15日, 京都)

高橋旨象：建築用主要樹種の耐蟻・耐朽性

今村祐嗣：木質系ボードの生物劣化

第29回リグニン討論会

(昭和59年10月15日, 16日, 東京)

河合真吾・梅澤俊明・樋口隆昌：4-エトキシ-3-メトキシフェニルグリセロール- β -シリンガアルデヒドエーテルのカワラタケによる分解

梅澤俊明・樋口隆昌：*Phanerochaete chrysosporium*による β -O-4結合の開裂とアリールグリセロールの生成機構について

島田幹夫・波部 豪・樋口隆昌・岡本 忠：リグニン分解へのバイオミメティックアプローチ(Ⅰ)ーリグニンモデル化合物の分解反応に及ぼすヘミンの触媒効果ー

波部 豪・島田幹夫・樋口隆昌：リグニン分解へのバイオミメティックアプローチ(Ⅱ)ーリグニン分解酵素及び酵素モデル解媒による重水素化リグニンモデル化合物の分解ー

片山健至・山田康博・十河村男・樋口隆昌： α -O-4型及び α 位にケトンを有する β -O-4型リグニールの*Fusarium solani* M13-1による分解

紙・パルプ技術協会年次大会

(昭和59年10月17日～19日, 静岡)

棚橋光彦：爆砕法と将来の展望

富山県木材研究会

(昭和59年10月19日, 富山)

今村祐嗣：パーティクルボードの耐朽性向上

第19回愛知県木材産業青年シンポジウム

(昭和59年11月17日, 鳳来町)

棚橋光彦：木材利用に対する新技術

兵庫県木材工業技術研究会講習会

(昭和59年11月20日, 神戸)

山田 正：居住性と木材の性質

第43回材料セミナー

(昭和59年11月29日, 京都)

則元 京：木材のプラスチック化

環太平洋国際化学会

(昭和59年12月16日～21日, ホノルル, 米国)

岡本 忠・佐々木 健・岡 信三郎・島田幹夫：TPP(Fe)Cl 触媒による1,2-ジアリールエタン1,2-ジオールの酸化的開裂。チトクロムP-450 scc のモデル反応

本学農学研究科大学院若手研究者セミナー

(昭和60年1月19日, 宇治)

島田幹夫：リグニンの生合成と生分解におけるポルフィリン鉄結合型活性酸素種について

日本木材加工技術協会：接着講習会

(昭和60年1月25, 26日, 大阪)

林 昭三：木材の構造

佐々木 光：パネル及び建築接着

日本しろあり対策協会：しろあり防除施行士第1次検定試験講習会

(昭和60年1月30日, 大阪, 同2月12日, 福岡)

高橋旨象：腐朽に関する知識

大阪府木材普及協議会

(昭和60年2月5日, 大阪)

佐々木 光：木材産業の高付加価値化の展開(2)

兵庫県木材工業技術研究会

(昭和60年2月13日, 神戸)

佐々木 光：間伐材, 廃材の新しい利用の方向

富山県木材技術講習会

(昭和60年3月15日, 富山)

佐々木 光：今後の木質材料利用の方向

第50回 日本化学会

(昭和60年4月1日～4日, 東京)

岡本 忠・佐々木 健・岡 信三郎・島田幹夫：鉄・ポルフィリン/BNAH/O₂系による隣接ジ

オールの開裂. チトクロム P'450_{sec} のモデル
反応

岡本 忠・佐道木健・岡信三郎・島田幹夫：1,2-ビス
(4-メトキシフェニル) 1,2-エタンジオール
の酸化的開裂。酸化剤の比較

第35回 日本木材学会大会

(昭和60年4月2日～4日)

I 研究発表

I-1 講演発表

伊東隆夫・島地 謙：フリーズエッチング法による
分化中の有縁壁孔の観察

三木直久・伊東隆夫・島地 謙：ワタ繊維の生長に
及ぼすセルロース合成阻害剤の影響

黒田宏之：木材植物培養系における物質産生——エン
ジユ培養系の検討

角谷和男：ポプラカサの細胞電位と光について

小野晃明・則元 京・加藤義之・幡 秀幸：木材振
動板スピーカー

矢野浩之・幡 秀幸・加藤 義之・小野 晃明・則元
京・山田 正：木材振動板スピーカー——樹種
特性——

矢野浩之・山田 正：木材の音響スペクトルにおけ
るせん断変形の寄与

青木 務・阪田昌樹・矢野浩之：木材の材質と音響
に関する研究

飯田生穂・則元 京：圧縮セットの回復

則元 京・大釜敏正・森 光正：木材の圧縮変形の
機構

牧 福美・則元 京・山田 正：木質材料の湿度調
節機能

佐々木 光・南 正院・川井秀一・瀧野真二郎・石
原茂久：遠心分離機による単板の乾燥

V.C. MALLARI・作野友康・岸本 潤・川井秀一・
佐々木 光・Bambang SUBIYANTO：パーティ
クルボードの製造に関する研究(I)——接着剤
の種類と適正含水率

川井秀一・佐々木 光・瀧野真二郎・Bambang
SUBIYANTO：未利用材を用いたパーティクルボ
ードの製造(I)——フェルカータ材

須田久美・川井秀一・佐々木 光：パーティクルボ
ードの物性に及ぼすパーティクルの形状効果

(I)——パーティクルの形状を規制したモデル
実験

川井秀一・須田久美・佐々木 光・中路 誠：パー
ティクルボードの物性に及ぼすパーティクルの
形状効果(II)——リングブレイカーに投入する
原料の形状を変化させた場合

高谷政広・浜田良三・佐々木 光：木材のタデツギ
用接着剤としてのエポキシ樹脂の特性

師岡淳郎・則元 京・山田 正：置換度の異なるセル
ロースオリゴメチレンエーテルアセテートの
物性

田熊 聡・師岡 淳郎・岡村 圭造・則元 京・山田
正：かさ高い側基を持つ COA の粘弾性

佐藤 惺・伏木清行・太田芳和：キリ材の変色現象
について

首藤勇一郎・岡村圭造・則元 京：セルローストリ
ブチレートの結晶構造

東 順一・東野 潤・越島哲夫：マイクロ波照射前
処理による木材糖化(その4)——針葉樹樹皮の
酵素糖化——

村木永之介・夜久富美子・越島哲夫：微粉碎木紛の
酵素分解(7) 粉碎による粒度分布の変化と
分解率について

田中龍太郎・夜久富美子・以与田 惇・越島哲夫・
東 順一：アセチルグルコマンナンの酵素分解
(V) —6-O-アセチル基の存在—

藤島 静・夜久富美子・越島哲夫：木材糖化におけ
る酵素回収再利用(III)——セルラーゼ活性の基
質への吸着について

加藤 厚・東 順一・越島哲夫：バガス LCC お
よび MWL の弱アルカリ分解について

高橋信義・越島哲夫：酵素処理したブナ LCC の
水可溶部の性質

田中文男・越島哲夫：糖化前処理時の木材セルロ
ースの結晶学的変化

伊藤隆夫・榎阪昭則・島地 謙：コンゴレッドに
よる in vivo での酢酸菌セルロースのミクロ
フィブリル化の阻害

片山健至・山田 康博・十河 村男・樋口 隆昌： α 位
にケトンをもつ β -D-4 型ジグリノール
の *Fusarium solani* による立体選択的環元

梅澤 俊明・樋口 隆昌：*Phanerochaete chrysosporium* による β -O-4 結合の開裂機構について

河合 真吾・梅澤 俊明・樋口 隆昌：非フェノール性 β -O-4 型リグニン二量体モデル化合物のカワラタケによる分解—アリアルグリセロールギ酸エステル生成について—

波部 豪・島田幹夫・樋口隆昌・岡本 忠：リグニン分解へのバイオメタリックアプローチ(Ⅲ) ポルフィリン触媒によるリグニンモデル化合物の C-C 結合開裂とそれに伴う $^{18}\text{O}_2$ のとりこみ

棚橋光彦・小林久也・樋口隆昌：爆砕リグニンの化学構造(Ⅱ)——グアヤシルグリセロール- β -グアヤシルエーテルとの比較——

石原茂久：防火剤及び防火塗料塗布によるパーティクルボードの耐火性能の向上

石原茂久・東丸真一・東丸敬三：ソリッドパネル工法(間伐材集成壁)による木造壁体の構造性能並びに耐火性能

野口昌己・宮内隆宏・藤井義久・奥村正吾・今村祐嗣：ベイツガ初期腐朽材の曲げ試験時のアコースティック・エミッション

角田邦夫・西本孝一：シロアリ防除薬剤の研究(Ⅰ) 各種化合物の防蟻性能

吉村 剛・角田邦夫・西本孝一：シロアリ防除薬剤の研究(Ⅱ) 遅効性薬剤の体内挙動

中村嘉明・西本孝一：インサイジング加工における刃物の圧入力

西本孝一・今村祐嗣：アセチル化処理による材質改良(Ⅲ) パーティクルボードの製造および性能(その1)

高橋旨象・角田邦夫・今村祐嗣・足立昭男・西本孝一：各種低毒性薬剤処理合板の防蟻性能(2) 耐候・抗菌操作による薬剤の消失

稲葉和功・飯塚義富・越島哲夫：サルファイトパルプ排液成分によるマツタケ菌糸の生育促進効果
樋口隆昌・小林久也・棚橋光彦・島田幹夫：*Paeicomyces varioti* による爆砕木材の飼料化

I-2 展示発表

今村祐嗣・西本孝一：アセチル化処理による材質改良(Ⅱ) 処理木材の耐朽・耐蟻性の検討

三木直久・伊東隆夫・島地 謙：ワタの培養胚珠における繊維の発達

牧野良平・黒田宏之・島地 謙：樹幹における木部形成と師部通導の関係—はしご型はく皮による師部通導の阻害—

土居修一・西本孝一：ナミグタケによって腐朽したエゾマツ材の顕微鏡観察

Ⅱ 研究会・部会

今村祐嗣：木質ボードの生物劣化

第6虫菌害セミナー

(昭和60年4月19日, 大阪)

角田邦夫：木材防蟻・防蟻薬剤の現状と将来

林産研究に関する国際シンポジウム (**Symposium on Forest Products Research International-Achievements and the Future**)

(昭和60年4月24日, 南アフリカ, プレトリア)

佐々木 光・川井秀一：Low-Density Particleboard with Isocyanate Adhesive

第40回京都大学木材研究所公開講演会

(昭和60年5月10日, 大阪)

田中文男：木材中のセルロースのならば方

伊東隆夫：セルロース生合成の最近の進歩

樋口隆昌：林産工学におけるバイオテクノロジー

木材保存に関する国際研究グループ 第16回大会

(昭和60年5月12日~17日, グアルジャ, ブラジル)

K. TSUNODA and K. NISHIMOTO: Laboratory Evaluation of Organophosphates as Termiticides

日本レオロジー学会第12回年会

(昭和60年5月20日, 京都)

師岡淳郎・則元 京・山田 正：パラフォルムアルデヒド/DMSO 溶剤を用いて調整したセルロース誘導体の粘弾性

第2回生体関連化学シンポジウム

(昭和60年6月3日, 4日, 東京)

島田幹夫・波部 豪・樋口隆昌・岡本 忠：ヘム酵素モデルによるリグニン関連化合物の C-C 結合切断反応とオキソゲネレーション

日本紙パルプ研究所セミナー

(昭和60年7月26日, 筑波)

島田幹夫：リグニンの微生物分解の最近の進歩—へム酵素結合型活性酸素をめぐって
京都大学公開講座「木材の科学」（第4回）
（昭和60年7月31日～8月2日，宇治，京都）
農学部林産工学教室と共催（中学・高校教員を対象）

I 「木材の科学」特論

島地 謙：木は語る

林 昭三：肉眼による樹種の識別

II 分属セミナー

木材物理部門：木材の物理的性質と加工

木材化学部門：木材成分の分析と化学的利用

木質材料部門：木質材料の製造と火災実験

木材防腐防虫実験施設：木材の生物劣化とその防止
他に林産工学4講座

繊維学会国際シンポジウム

(The International Symposium on Fiber Science and Technology)

(昭和60年8月20日～24日，箱根)

T. MIYAMOTO, Y. SATO, T. SHIBATA, M. TANAHASHI and H. INAGAKI: ¹³C-NMR Studies on the Distribution of substituents in cellulose Derivatives

K. OKAMURA, Y. SHUTOH and M. NORIMOTO: Crystal Structure of Cellulose Tripropionate

リグニン生分解1985（1985国際木材及びパルプ化学シンポジウム—ワークショップ）

（昭和60年8月23日，24日，バンクーバー，カナダ）

梅澤俊明・樋口隆昌：*Phanerochaete chrysosporium* による β -O-4 リグニンサブストラクチャーの分解における芳香核の開裂とアリールグリセロールの生成

島田幹夫・波部 豪・岡本 忠・B. PANIJAN・樋口隆昌：リグニン分解酵素のバイオミメティックモデル触媒によるジアリルプロパンリグニンモデル化合物の非酵素的酸素添加型 C-C 結合開裂

第13回国際生化学会

（昭和60年8月25日～30日，アムステルダム，オランダ）

ランダ）

島田幹夫・B. PANIJAN・波部 豪・樋口隆昌： H_2O_2 存在下においてへム酵素モデル（鉄プロトポルフィリンK）によるリグニンモデル化合物の C-C 結合開裂反応

1985国際木材及びパルプ化学シンポジウム

（昭和60年8月26日～30日，バンクーバー，カナダ）

樋口隆昌・島田幹夫・梅澤俊明・河合真吾：*P. chrysosporium* と *C. versicolor* によるアリールグリセロール- β -アリールエーテルサブストラクチャーモデルの分解経路及び分解機構

K. OKAMURA, Y. SHUTOH and M. NORIMOTO: Crystal Structure of Some Cellulose Derivatives

人事往来・その他

全国高等学校インテリア科教育研究会40名（昭和59年8月2日）実技講習会のため来所

A. SCABBERT（フランス国立農業研究所）（昭和59年8月4日）リグニン・糖結合体研究に関する意見交換のため来所

則元 京：「木材のプラスチック化とその応用に関する研究」（昭和59年8月12日～20日）アメリカ合衆国

角谷和男：附属防腐防虫実験施設の教授に昇任（昭和59年8月16日）

蘇 雄永（全北大学校教授）（昭和59年8月17日）木材生物学研究室視察のため来所

則元 京：木材物理研究部門の助教授に昇任（昭和59年9月1日）

前川英一：「セルロース及びセルロース系バイオマスの有効利用」（昭和59年9月1日～昭和60年2月28日）スウェーデン王国

Dr. R.M. BROWN Jr.（テキサス大学教授）（昭和59年9月3日）木材生物学研究室の視察およびセルロース生合成の研究に関する討論と講演のため来所

三重県林業後継者40名（昭和59年9月19日）第4回三重県林業後継者大学後期講座のため来所

今村祐嗣：「シロアリ被害の生態的研究に基づく低

- 「毒性防蟻剤の開発に関する研究」(昭和59年9月22日～30日) オーストラリア連邦
- 角田邦夫: 「シロアリ被害の生態的研究に基づく低毒性防蟻剤の開発に関する研究」(昭和59年9月22日～30日) オーストラリア連邦
- 李 暢雨(韓国林業試験場研究員) 他1名(昭和59年10月5日) 研修のため来所
- 則元 京: 「木材及び林地残廢材の特質解明と有効利用に関する共同研究」(昭和59年10月15日～20日) インドネシア共和国
- 川井秀一: 「木材及び林地残廢材の特質解明と有効利用に関する共同研究」(昭和59年10月15日～29日) インドネシア共和国
- 西本孝一: 「木材保存に関する学術セミナー出席」(昭和59年10月18日～24日) 大韓民国
- Dr. H.H. BOSSHARD (スイス連邦工科大学教授)(昭和59年10月29日) 講演および見学のため来所
- Myrtha KARINA (インドネシア科学院国立物理学研究所研究員)(昭和59年10月29日～11月27日) 発展途上国科学協力事業に伴う「未利用森林資源の特質解明とその有効利用の共同研究の一環としてインドネシア木材の爆砕による主要成分の分離と特質解明・爆砕リグニンのプラスチック化の基礎研究」を行なうため来所
- 岳 致中他7名(中国科学院学術交流代表团)(昭和59年10月30日) 学術研究状況の視察及び関係者との意見交換のため来所
- 島田幹夫: リグニン化学研究部門の講師に昇任(昭和59年11月1日)
- 高橋旨象: 「シロアリ被害の生態的研究に基づく低毒性防蟻剤の開発に関する研究」(昭和59年11月1日～8日) アメリカ合衆国
- Masako NAKAOKA (ブラジル林業研究研修員)(昭和59年11月9日) 見学のため来所
- 冯 興義他7名(中国黒竜江省木材総合利用研究計画事前訪日調査団)(昭和59年11月19日) 見学のため来所
- 社団法人日本シロアリ対策協会45名(昭和59年11月21日) 施設見学のため来所
- 杜 駿他6名(中華人民共和国北京粘接学会代表)(昭和59年11月26日) 日中学術交流を深めるため来所
- 島田幹夫: 「天然物及び薬物代謝の酵素化学に関する環太平洋国際化学会議に出席」(昭和59年12月16日～22日) アメリカ合衆国
- Bhinyo PANIJPAN (マヒドール大学 理学部 生化学科 準教授)(昭和60年1月9日～2月22日) 発展途上国科学協力事業に伴う「リグニンの微生物分解に関する研究」のため来所
- 高橋旨象: 「シロアリ被害の生態的研究に基づく低毒性防蟻剤の開発に関する研究」(昭和60年2月2日～10日) オーストラリア連邦
- 社団法人全国木材組合連合会64名(昭和60年2月8日) 見学のため来所
- 京都大学農学部林産工学教室の学生16名(昭和60年3月1日) 見学のため来所
- 国際協力事業団の「昭和59年度木材工業機械集団研修コース」の研修員11名(昭和60年3月8日) 見学のため来所
- 野村隆哉: 「竹の栽培と利用に関する研究指導」(昭和60年3月19日～昭和61年3月18日) ブラジル
- Dr. A.P. SCHNIEWIND (カリフォルニア大学教授)(昭和60年3月23日) 材鑑調査室の視察および材鑑の収集・管理システムについて意見交換のため来所
- Jose V. ZERRUDO (フィリピン大学林学部準教授) 他1名(昭和60年3月29日) 発展途上国との学術交流事業に伴い「熱帯森林資源(マングローブを含む)の保続と有効利用に関する研究」のため来所
- 西本孝一: 附属防腐防虫実験施設長に併任(昭和60年4月1日)
- 山田晃一: 木材研究所会計掛長に配置換(昭和60年4月1日)
- 西村 廉: 東南アジア研究センター会計掛長に配置換(昭和60年4月1日)
- 佐々木 光: 「国際林産研究シンポジウム出席及び木材の耐久性に関する研究資料調査」(昭和60年4月19日～5月12日) 南アフリカ共和国
- 李 中平他5名(中国農牧漁業部の農業大学実験室

- 設備技術管理考察団) (昭和60年4月25日) 実験室等の配置, 規模, 科学機械の使用管理等考察のため見学に来所
- 角田邦夫: 「共同研究遂行に当たっての役割分担の討議と生物試験のセット・観察と結果の検討, 研究成果の検討と共同研究の役割分担についての討議」 (昭和60年5月5日～6月4日) アメリカ合衆国
- 日本語・日本文学研修講座留学生12名 (昭和60年5月17日) 見学のため来所
- 伊東隆夫: 「セルロース生合成に関する研究」 (昭和60年6月1日～9月15日) アメリカ合衆国
- Juvonen, Risto JUHANI (ヘルシンキ工科大学) (昭和60年6月14日) 来所
- 飯場義弘: 木材研究所会計掛経理主任に昇任 (昭和60年7月1日)
- 大塚重信: 学生部学生課会計掛経理主任に配置換 (昭和60年7月1日)
- キム ギョボン (科学院燃料研究所室長), チウンファン (金日成総合大学生物学部長) (昭和60年8月1日) 朝鮮科学技術代表団として来所
- 和歌山県高等学校理科研究会20名 (昭和60年8月9日) 施設見学のため来所
- 則元 京: 「木材のプラスチック化とその応用に関する研究」 (昭和60年8月17日～9月5日) アメリカ合衆国
- 島田幹夫: 「リグニン微生物分解ワークショップ及び国際木材・パルプ化学シンポジウム出席, 研究資料収集」 (昭和60年8月21日～9月5日) カナダ, アメリカ合衆国
- 梅澤俊明: 「リグニン微生物分解ワークショップ及び国際木材・パルプ化学シンポジウム出席, 研究資料収集」 (昭和60年8月21日～9月5日) カナダ, アメリカ合衆国
- 樋口隆昌: 「国際木材・パルプ化学シンポジウム出席, 研究資料収集, マーカスワレンブルグ賞講演会出席」 (昭和60年8月22日～9月16日) カナダ, スイス連邦共和国, フランス共和国, スウェーデン王国
- 劉 忠伝他5名 (南京林学院視察団) (昭和60年8月24日) 来所